●はオプションになります。(別料金)

《八	、間ドック検査場							●はオプションになります。(別料金)
検	査 項 目			2泊3日 Cコース				検 査 内 容 等
身体計測	身長•腹囲測定	0	0	0	0	0	0	肥満度、栄養状態を知ることができます。
	体重	0	0	0	0	0	0	特に肥満度の高い人は、高脂血症、高血圧症、糖尿病等
	肥満度(BMI)	0	0	0	0	0	0	生活習慣病に要注意です。
診察•他	内科診察	0	0	0	0	0	0	
	健康相談	0	0	0	0	0		
	胸部X線	0	0	0	0	0	0	肺、心臓の病気、特に肺がんの早期発見には重要です。
	喀痰細胞診	0	0	0	0	0		肺がん細胞の有無をみます。
呼吸器系	肺機能検査	0	0	0	•	•	0	肺活量の喚起能力などの肺の働きをみます。
	胸部CT撮影	•	•	•	•	•	•	CTにより5mm以下の肺気腫・肺癌等の病変をみつけることができます。
	血圧	0	0	0	0	0	0	
循環器系	心電図	0	0	0	0	©	0	心筋障害や冠状動脈の状態、心臓肥大、不整脈などがわかります。
	胃透視	0	0	0	0	0	0	バリウムを飲み、食道、胃、十二指腸の病気を発見します。
消化器系	大腸内視鏡		0					大腸ポリープや大腸がん等を内視鏡で検査します。
	便潜血(2回法)	0	0	0	0	0	0	消化管からの出血があるかどうか調べます。
超音波	腹部超音波検査	0	0	0	0	0	0	肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓の異常や腫瘍の有無をみます。
	空腹時血糖	0	0	0	0	0	0	糖尿病や糖尿病の可能性の有無を調べます。
Just 11 = 41 - 7	空腹時尿糖	0	0	0	0	0	0	
糖代謝系	インスリン精密測定	0	0	0	0	0		血糖を調整するホルモンを調べます。
	グリコヘモグロビンA1c	0	0	0	0	0	0	過去2~3ヶ月の平均的な血糖値を示す検査です。
	総コレステロール	0	0	0	0	0	0	血液中に含まれるコレステロールの総量を調べます。
	中性脂肪	0	0	0	0	0	0	血液中に含まれる脂質成分で、多すぎると脂肪肝となったり、悪玉コレステロールの増加につながります。
脂質系	HDLーコレステロール	0	0	0	0	0	0	動脈硬化を予防するのが、善玉コレステロールといわれるのがHDLコレステロールで、悪玉コレステロールといわれるのがLDLコレステロールです。LDLが多すぎると動脈硬化を引きおこしやすくなります。
	LDLーコレステロール	0	0	0	0	0	0	
	non-HDLコレステロール	0	0	0	0	0	0	善玉コレステロール以外の動脈硬化につながるコレステロール値を調べます。
	白血球数	0	0	0	0	0	0	高値の時、種々の炎症や白血病、低値の時は貧血などが考えられます。
	赤血球数	0	0	0	0	0	0	酸素を体内の細胞に運び、不要になった二酸化炭素を運び出す働きをします。高値の時は多血症など、低値の時は貧血などが考えられます。
血液系	血色素量	0	0	0	0	0	0	
	ヘマトクリット	0	0	0	0	©	0	血球成分容積をみる検査です。高値の時は多血症、脱水症など、低値の時は 貧血などが考えられます。
	血小板数	0	0	0	0	©	0	出血を止めるための重要な働きを持ち、値が極端に減少すると出血を起こしや すくなります。
	血液像	0	0	0	0	0		感染症や白血病などの診断に有用です。
	血清鉄	0	0	0	0	0		血色素の主な材料である血清鉄が不足すると鉄欠乏性貧血が生じます。
	MCV, MCH, MCHC	0	0	0	0	0	0	貧血の種類の鑑別ができます。

検	査 項 目					1泊2日 Hコース		検 査 内 容 等
	CRP	0	0	0	0	0	0	炎症性の病気があると陽性に出ます。
血清	梅毒(TPHA法)	0	0	0	0	0	0	梅毒の検査は感染してから3~4週間から3ヶ月たたないと陽性に出ません。
	HBs抗原	0	0	0	0	0	0	B型肝炎・C型肝炎ウィルスに関する検査です。抗原検査はそのウィルスを見いる検査で、抗体検査は既にそのウィルスに感染したかどうかを見る検査です。
	HCV抗体	0	0	0	0	0	0	
	総ビリルビン	0	0	0	0	0	0	高値の時は急性・慢性肝炎、体質性黄疸、閉塞性黄疸、溶血性貧血などがあります。
	ALP	0	0	0	0	0	0	有機リン酸化合物を分解する酵素で、高値の時は急性・慢性肝炎、肝うっ血などがあります。
	AST(GOT)	0	0	0	0	0	0	アミノ酸を作り出す酵素の一つで、高値の時は、急性・慢性肝炎、肝硬変、アル
	ALT(GPT)	0	0	0	0	0	0	コール性・薬剤性肝障害、心筋梗塞、閉塞性黄疸などがあります。
	γ —GTP	0	0	0	0	0	0	蛋白質を分解する酵素の一つで、肝障害やアルコール摂取などで合成が増え、活性が増加するため高値となります。
肝膵臓	LDH	0	0	0	0	0		エネルギーを産生する時にはたらく酵素のひとつで、肝障害や心筋梗塞など で高値を示します。
	総蛋白	0	0	0	0	0	0	肝臓で合成されるもので、肝や腎機能の障害などで変動します。
	膵臓アミラーゼ	0	0	0	0	0		膵臓から分泌されるでんぷんなどの糖類を分解する消化酵素の一つで、膵炎などで高値になります。
	アルブミン						0	栄養状態の低下・肝臓の蛋白合成機能の低下で低値になります。
	A/G比						0	アルブミンとグロブリンの総量との比を表したもので、肝臓などの異常を知ること ができる検査です。
	ウロビリノーゲン(尿)	0	0	0	0	0	0	古くなった赤血球が肝臓なとで分解されビリルビンとなります。(2+)以上の時は肝臓や 胆のうなどの異常を考えます。
	尿素窒素	0	0	0	0	0	0	蛋白質の新陳代謝にによりできた老廃物で、腎機能が低下した時に高値に
	クレアチニン	0	0	0	0	0	0	ります。
腎機能	尿酸	0	0	0	0	0	0	体内プリン代謝の最終産物で腎臓から排出されもので、高値の時、痛風、腎障 害などがあります。
育 (茂 化	e-GFR	0	0	0	0	0	0	腎臓の糸球体がどのくらい老廃物をろ過することができるかを示す値で腎機能 を把握する目安となります。
	尿一般(蛋白·潜血·他)	0	0	0	0	0	0	腎炎、尿路感染症、腫瘍、結石等腎臓・尿路系疾患の診断の目安となります。
	尿沈査	*	*	*	*	*	0	腎臓や尿管、膀胱の病気の早期発見に有効です。
	視力	0	0	0	0	0	0	
眼科	眼圧	0	0	0	0	0	0	緑内障早期発見に有用です。
	眼底検査	0	0	0	0	0	0	網膜の状態を知る検査であり、動脈硬化の程度、高血圧症、糖尿病等合併症 の有無がわかります。
乳がん	乳腺マンモグラフィ撮影	©₽	©₽	©₽	©₽	©₽	●우	乳がんの早期発見に有用です。
泌尿器科	前立腺癌血液検査	©∂	©∂7	©3	©3	©3	●3	前立腺癌の早期発見に有用です。
耳鼻科	聴力検査	0	0	0	0	0	0	職業性難聴、老人性難聴の早期発見に有用です。
	内診	©₽	©₽	◎ 우	© ₽	◎우	● ♀	
子宮がん	細胞診	©₽	© 우	◎ Ŷ	© 우	◎우	● ♀	婦人科疾患の有無を調べます。
	経腟超音波検査	•♀	●우	● 우	●우	● 우	●우	卵巣腫瘍の早期発見に有用です。
脳ドック	頭部MRI			0		0	•	脳動脈瘤の早期発見、脳梗塞診断に有用です。
	頭部MRA			0		0	•	
	頸部MRA			0		0	•	
その他	骨密度(DEXA)	•₽	•₽	•₽	• ?	•₽	•₽	骨量が低下していないか調べる検査であり、主に骨粗鬆症を診断する検査です。
料 (税込)	(円) 男性 女性			106,920 111,100		105,160 110,440	34,100	●はオプションになります。(別料金) ※尿沈査は尿蛋白・潜血が陽性の方のみ実施

《オプション検査主な項目》

オプション項目	料金(円)(税込)	備 考
胸部CT	11,000	
骨密度検査	3,300	DEXA法
胃内視鏡検査	3,300	胃透視から胃内視鏡へ変更した場合の差額料金 ※胃内視鏡検査は人数制限があります。
乳がん検診	5,720	女性 触診+マンモグラフィー
子宮がん検診	4,400	女性 内診+子宮頸部細胞診
経膣超音波検査	2,200	女性 経膣超音波検査
前立腺癌血液検査	3,300	男性
脳ドック	33,000	頭部MRI 頭頸部MRA
ABC検診	3,850	胃粘膜の老化とピロリ菌の有無を調べる血液でわかる胃の健康度検査です。